

# 東北地方3か月予報(10~12月)の解説

平成13年9月20日 仙台管区気象台

## 1. 予想される天候

(1) 3か月平均気温の予想される各階級の確率(%)



### [概要]

10~12月の3か月平均気温は「平年並」の可能性が最も大きく、その確率は50%です。「高い」の可能性は次に大きく、その確率は30%です。「低い」の可能性は小さく、その確率は20%です。

### (2) 可能性の大きな天候の特徴

10月：天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

気温、降水量共に平年並でしょう。

11月：天気は数日の周期で変わるでしょう。低気圧の通過後は冬型の気圧配置となって、平年と同様に東北日本海側では曇りや雨の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多いでしょう。

気温、降水量共に平年並でしょう。

12月：冬型の気圧配置が続き、平年と同様に東北日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多いでしょう。

気温、降水量共に平年並でしょう。

なお、10~12月の3か月間の降水量は平年並でしょう。

## 2. 前回(8月20日)発表の3か月予報からの変更点

10月 気温 高い 平年並

### <参考資料>

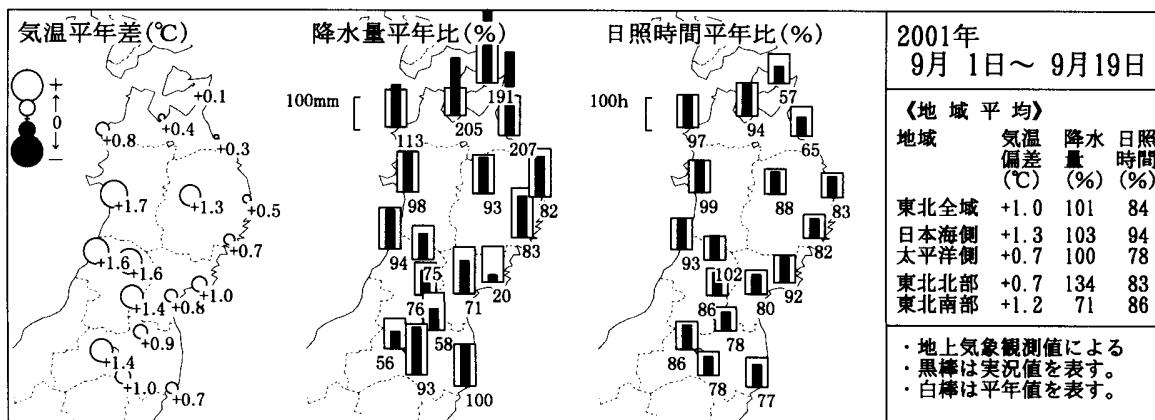
平年のおおよその天気出現日数(日)

	10月		11月		12月	
	東北日本海側	東北太平洋側	東北日本海側	東北太平洋側	東北日本海側	東北太平洋側
晴れの日	15	18	9	18	5	19
雨の日	13	9	16	8	19	7

注：季節予報では、「日照率40%以上の日数」、「日降水量1mm以上の日数」をそれぞれ晴れの日、雨の日の目安として用いている。この2つの事象は同じ日に起こりうるため、両方に数えられる日もある。なお、日照率は1日の日照時間を可照時間（太陽の中心が東の地平線に現れてから西の地平線に没するまでの時間）で割った値である。

### 3. 最近の天候経過と循環場の特徴

#### (1) 最近の天候経過



東北地方における9月(1~19日まで)の平均気温、降水量、日照時間平年差(比)

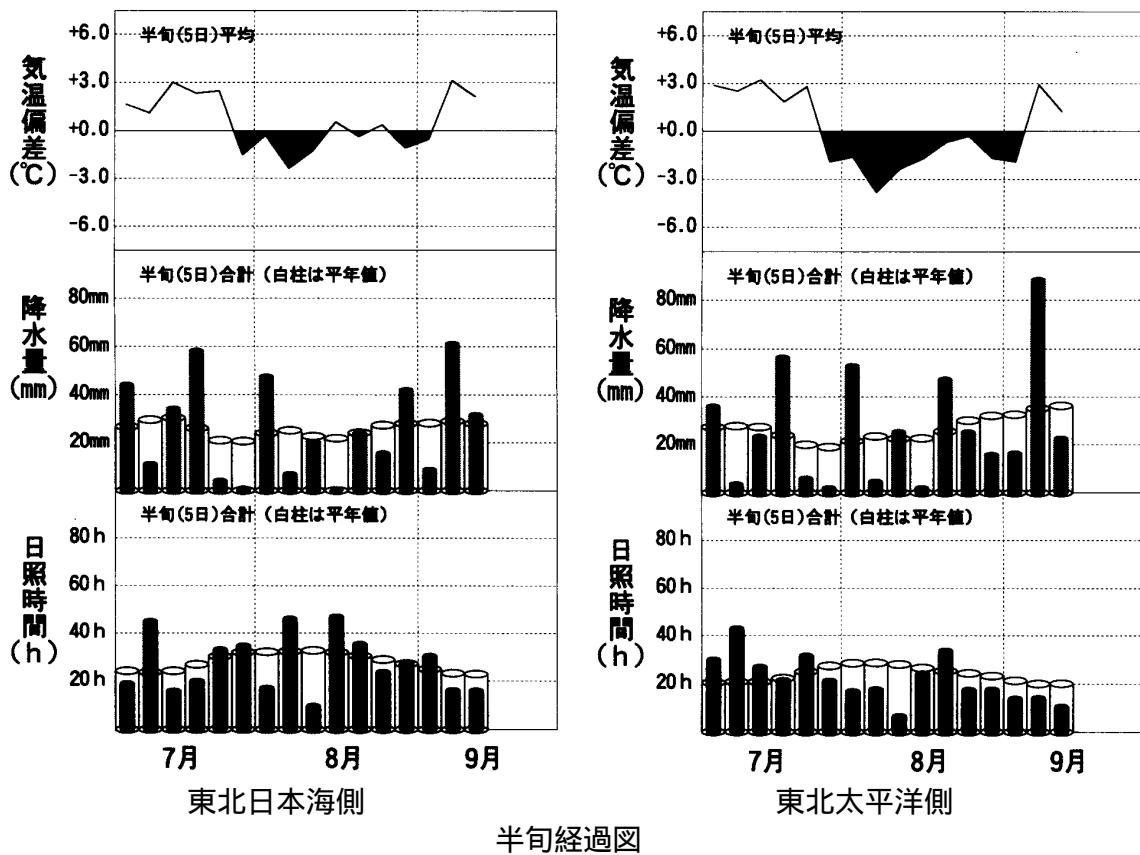
9月(19日まで): この期間の平均気温平年差は、東北日本海側で+1.3と平年より1以上高く、東北太平洋側では+0.7と平年を上回った。降水量平年比は、東北北部で134%と平年を上回ったが、東北南部で71%と平年を下回った。日照時間平年比は、東北地方で84%と平年を下回った。

上旬は、天気は概ね周期的に変化した。東北日本海側では高気圧に覆われ晴れる日が多くたが、東北太平洋側では本州南岸を進んだ低気圧や北偏した高気圧からの冷たく湿った東よりの風の影響を受け、曇りで低温となる日多かった。また、旬末にかけては台風第15号が北上して本州に接近したため、8日や9日は暖かい空気が流れ込んで各地で真夏日となり残暑が厳しかったが、天気は下り坂となった。

上旬の平均気温平年差は、東北日本海側で+0.8、東北太平洋側では-0.1となつたが、共に平年並だった。降水量平年比は、東北北部で33%とかなり少なく、東北南部で59%と少なかった。日照時間平年比は、東北日本海側で126%と多く、東北太平洋側で97%と平年並だった。

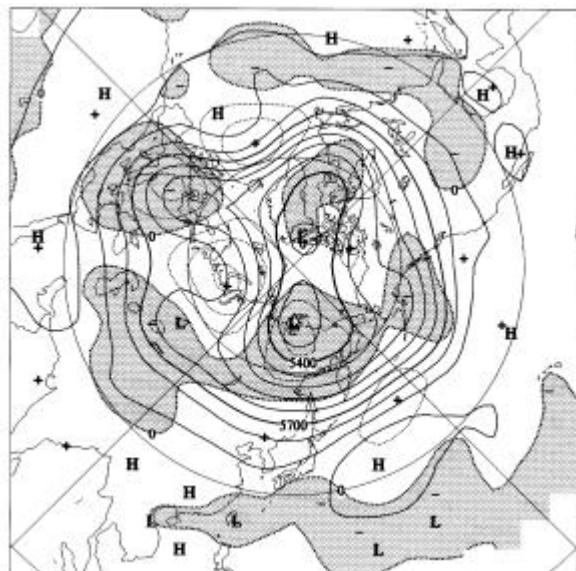
中旬(19日まで)は、はじめ三陸沖を北上した台風第15号や19日に接近した台風第17号、秋雨前線の影響で曇りや雨の日多かった。特に、台風第15号が接近した11日は各地で大雨となり、土砂崩れや浸水害、交通障害などが発生した。11日の日降水量は、むつで158.0mm、八戸で148.0mm(共に9月として第1位)を記録した。また、18日は晴れて気温が上がり、東北南部では真夏日となる所があった。

中旬(19日まで)の平均気温平年差は、東北北部で+1.1と平年を上回り、東北南部では+2.3と平年を大きく上回った。降水量平年比は、東北北部で248%と平年を大きく上回り、東北南部では91%と平年を下回った。日照時間平年比は、東北北部で44%と平年を大きく下回り、東北南部では70%と平年を下回った。



## (2) 中・高緯度の循環

9月(19日まで): 500hPa高度場では、太平洋高気圧は日本の東海上で強かったが、8月に引き続き日本の南では弱く、台風第15号、第16号、第17号の影響もあって日本の南海上には負偏差域が広がった。しかし、極東の中緯度帯はほぼ正偏差となった。極渦は、タイミル半島の東でまとまり、偏西風が平年より北に偏って流れたため、強い寒気の南下はなかった。



9月1~19日平均 500hPa 天気図

等高度線間隔 60m

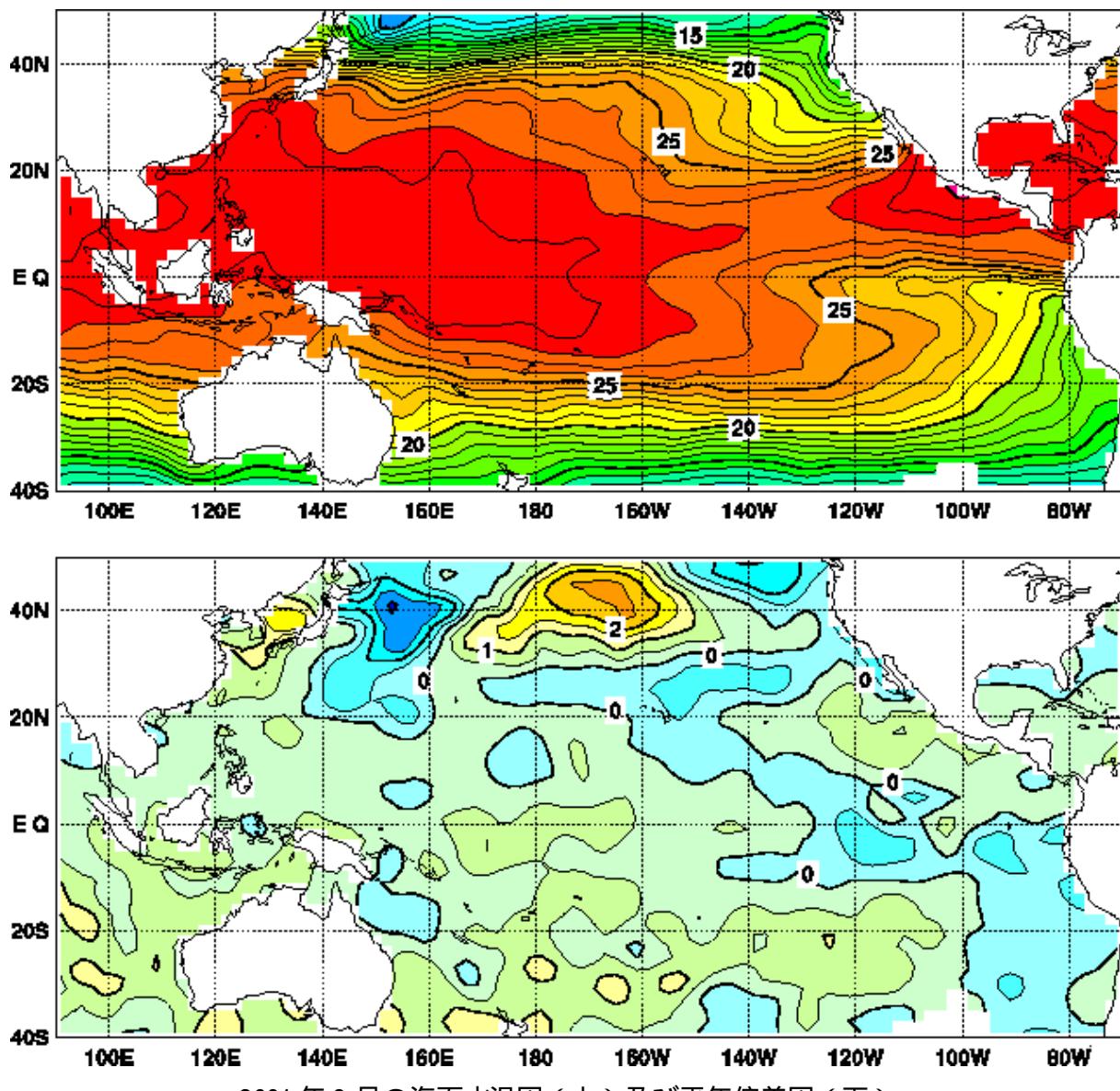
陰影部は平年より高度が低い領域

### (3) 热帯太平洋の状況

エルニーニョ監視海域（北緯4度～南緯4度、西経150度～西経90度）の8月の海面水温の基準値（1961～1990年の30年平均値）との差は+0.1 であった。

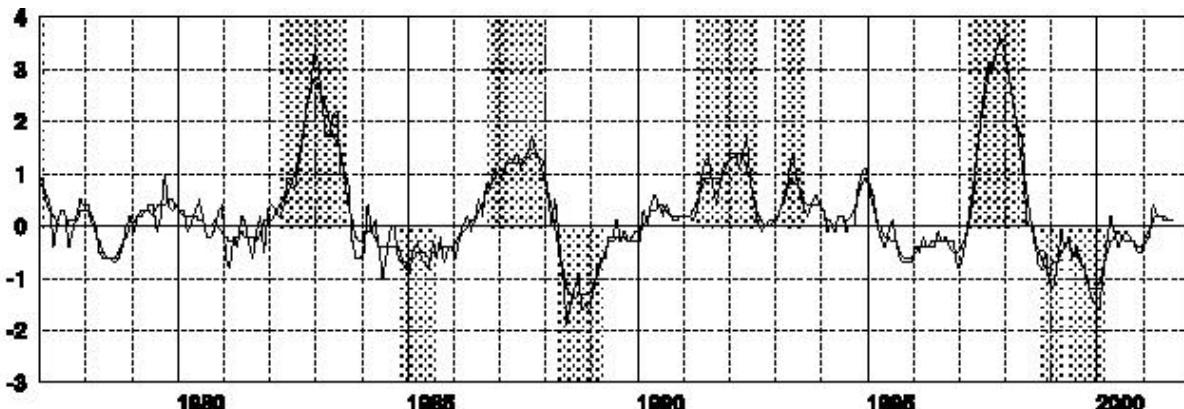
8月の太平洋赤道域の海面水温は、東経140度付近、東経160度から西経160度にかけて、西経145度付近、及び西経105度付近で平年より0.5 以上高かった。一方、西経120度付近では平年より0.5 以上低かった（下図）。

8月の南方振動指数は-0.6(暫定値)だった。（南方振動指数は貿易風の強さの目安であり、正（負）の値は貿易風が強（弱）いことを示す。）



2001年8月の海面水温図（上）及び平年偏差図（下）

海面水温図の太線は5 每、細線は1 每の、平年偏差図の太線は1 每、細線は0.5 每の等值線を示す。海面水温図の陰影部は28 以上の領域を、偏差図の濃い（淡い）陰影部は+1 以上の正偏差域（0 以下の負偏差域）を示す（平年値は1971～2000年の30年平均値）。



エルニーニョ監視海域の月平均海面水温の基準値との差( )の推移  
(1977年1月～2001年8月)

折線は月平均値、滑らかな太線は5か月移動平均値を示し、正の値は基準値より高いことを示す。エルニーニョ現象の発生期間は上側に、ラニーニャ現象の発生期間は下側に、それぞれ陰影を施してある（基準値は1961～90年の30年平均値）。

#### (4) エルニーニョ現象等の今後の見通し（2001年9月～2002年3月）

エルニーニョ監視海域の海面水温は、予測期間中、基準値（1961～1990年の30年平均値）に近い値で推移するものと予測される。

#### 【解説】

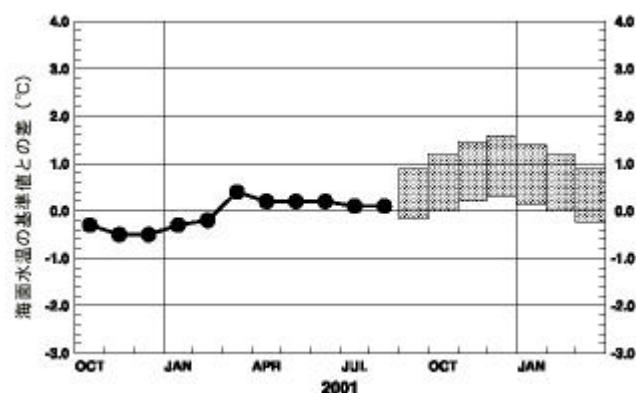
エルニーニョ監視海域の8月の海面水温の基準値との差は+0.1であり、春以降大きく変化していない。

海洋の表層（海面から深度数百mまでの領域）では、西部太平洋赤道域に暖水が平年より厚く蓄積しているのが6月頃まで解析されており、これが東に移動することにより、エルニーニョ監視海域の海面水温が平年より高くなる可能性が考えられた。しかし、7月から8月にかけて、暖水域が東に進んだものの、太平洋赤道域東部に達することなく弱まった。

エルニーニョ予測モデルは、監視海域の海面水温が年末を中心に一時的に基準値より1程度高くなると予測している（右図）。

これらのことから、エルニーニョ監視海域の海面水温は、一時的に基準値よりやや高くなる可能性はあるものの、ほぼ基準値に近い値で推移するものと予測される。また、秋から冬の間にエルニーニョ現象が発生する可能性はこれまでに比べて小さくなつたと考えられる。

ただし、太平洋赤道域中部では海面水温が平年よりやや高く、海洋表層にも弱いながら正偏差が見られることから、引き続き注意深く監視する必要がある。



エルニーニョ予測モデルによる  
エルニーニョ監視海域の海面水温偏差予測

この図は、エルニーニョ監視海域の海面水温（基準値との差）の先月までの推移（折れ線グラフ）とエルニーニョ予測モデルから得られた今後の予測（ボックス）を示している。各月のボックスは、海面水温の基準値との差が70%の確率で入る範囲を示す。（基準値は1961～1990年の30年平均値）

#### 4. 参考資料

#### 2001年(平成13年) 季節現象(初日)

官署名	初 霜			初 氷			初 雪		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
青森		10.23	10.20		10.29	11. 7		11. 7	11.11
深浦		11.17	11.20		11.19	11.19		11.10	11.11
八戸		10.27	10.31		11. 2	11.12		11.11	11.11
秋田		11. 6	11.14		11.13	11.19		11.12	11.18
盛岡		10.18	10.28		10.24	10.19		11. 8	11.11
宮古		10.31	10.31		11. 5	11.12		11.16	11.18
大船渡		11. 5	10.31		11.11	11.12		11.18	11.18
酒田		11.12	11.23		11.20	11.23		11.17	11.18
山形		10.24	10.31		10.29	11. 9		11.16	11.18
仙台		11. 6	10.31		11.16	11.23		11.22	11.18
福島		11. 6	11.23		11.11	11.23		11.24	11.28
若松		10.28	10.19		11. 6	11.10		11.17	11.18
小名浜		11.11	11.29		11.19	11.29		12.13	12.12

#### 初冠雪

山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年	山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年
八甲田山	1584		10.16	10.14	朝日岳	1870		10.19	10.27
岩木山	1625		10.15	10.27	ガントサン 雁戸山	1485		10.28	10.27
八ヶ岳ミダケ 階上岳	740		11.12	11.11	リュウザン 瀧山	1362		10.30	11.11
太平山	1170		10.31	11.11	泉ヶ岳	1175		11. 6	11.19
岩手山	2038		10.13	10.13	蔵王山	1841		10.23	11. 9
五葉山	1351		11. 7	11.17	吾妻山	1975		10.21	11.11
鳥海山	2236		10. 9	10.13	イイデサン 飯豊山	2105		10.17	10.16
月山	1984		10.15	10.19	磐梯山	1819		10.24	10.27